NIE実践報告

1．タイトル：**私たちの思いが、新聞記事に!?**

2．学校名

山口県田布施町立田布施西小学校

3．実践者名（代表者名）

山根基秀

4．学年

第6学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

総合的な学習の時間・国語　22人

6．単元（本時の学習課題）名

「ふるさと田布施再発見！　~　古代ロマンから新しい田布施文化の創造を夢見て~　」

7．目標（狙い）

より豊かで楽しく暮らせる町づくりを提案する活動を通して、新聞の効果的な使い方や情報発信のよりよい手段を考えていくことができる。

8．評価の視点

地域の歴史や文化を生かした活動が載った記事を参考にしながら、地域住民に伝えたいことや町の将来像について、自分なりの考えを分かりやすくまとめて書くことができたか。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数

（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

「自分の考えを発信しよう」（教科書教材：大阪書籍）［国語：3時間］
「ふるさと田布施再発見！」［総合的な学習の時間：8時間］　　合計11時間

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

①田布施町の自然や歴史・文化を調べ、「田布施の文化の伝承と発展」をテーマに、体験してみたいことや残していきたいものなどを考える。（1時間）
②新聞記者の取材のもと、古代米の栽培や古墳の製作など様々な自然・文化体験をする。（5時間）
③「自分の考えを発信しよう」の教材から、新聞のより有効なまとめ方などを学ぶ。（1時間）
④町の歴史や文化との関わりから得た情報をもとに、地域発信への文章を作成する。（3時間）
⑤新聞による地域発信の仕方や体験活動を振り返り、よりよい町づくりへの提言のための広報活動のあり方を考える。（1時間）
（留意点）
・新聞記事の内容と自分たちの思いを比較させるため、「良かったところ」「もっと載せてほしかったところ」等が書けるプリントを用意する。そして、より分かりやすく正しく情報が伝えられたか考えさせる。
・「誰に、どんなこと」を知らせるか明確にさせ、発信する内容別に少人数でまとめができるようにする。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

自分たちの活動が新聞記事になったことで、新聞をより身近に感じることができた。また、新聞を通して、地域に広報活動したことが、協力者が増え、人との交流が盛んになり、学校教育への理解も深まった。

12．成果と課題

・自分たちの考えや取組を発信する教育活動に新聞を有効に取り入れることで、、町の歴史や文化に触れる活動から新しい文化を創造し、より住みよい町づくりをしていこうという心が育った。さらに、新聞を通して、町民の「元気な町づくり」への気運を学校から盛り上げていきたい。
・新聞記者さん（発信者）に、日頃から児童の取組を報告し、思いを共有することで、学校から地域への発信において、より正確で有効な広報活動ができると思う。今後とも、いろいろな新聞社さんの特色を活かしながら連絡を密にさせていただき、学校教育活動への支援をいただきたい。